

「心のバリアフリー」

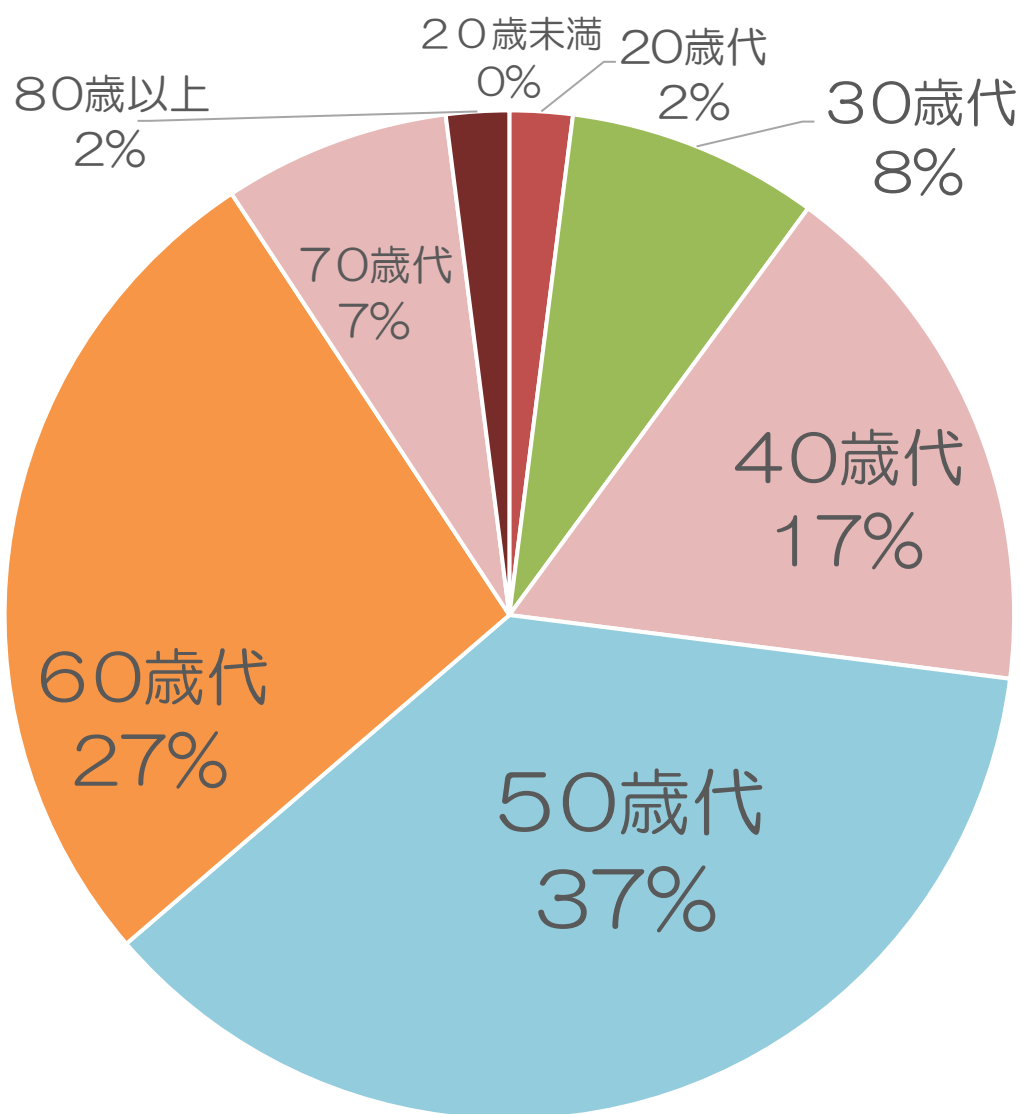
に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

募集期間 2024年2月2日（金）
～
2024年2月6日（火）

対象者数 2,324 回答者数 248

回答率 10.7%

回答者の年代



年代	件数
20歳未満	0
20歳代	5
30歳代	20
40歳代	42
50歳代	91
60歳代	67
70歳代	18
80歳以上	5
合計	248

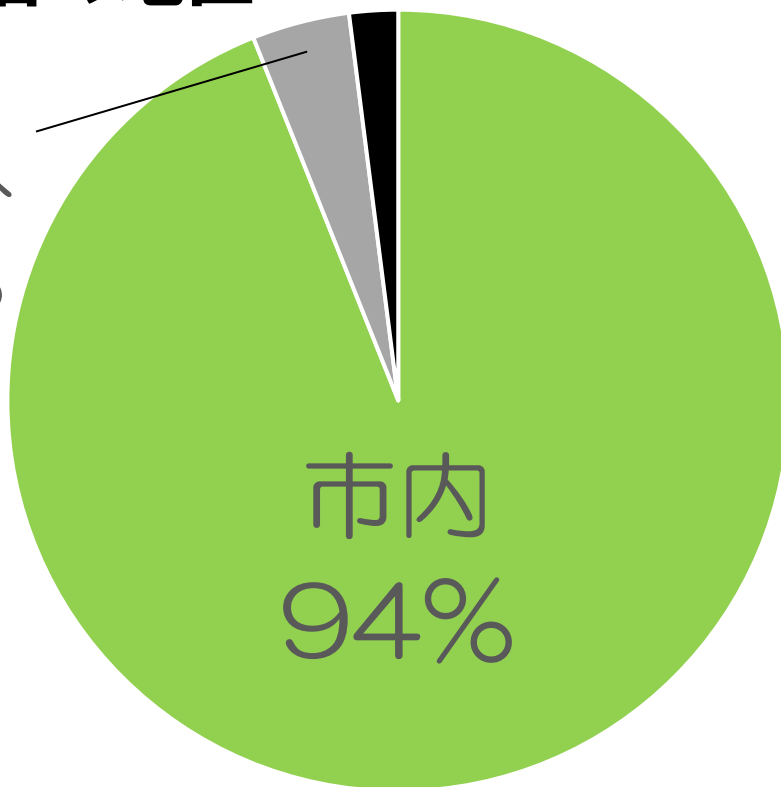
「心のバリアフリー」

に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

回答者の地区

不明・無回答 2%

市外
4%



市内
94%

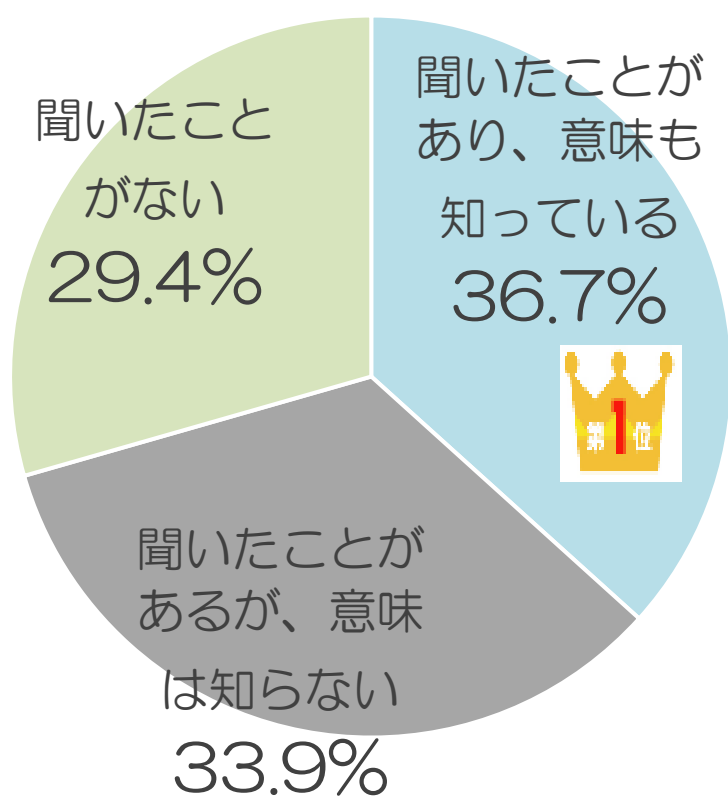
地区	件数
市内	233
市外	10
不明・無回答	5
合計	248

「心のバリアフリー」 に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

質問 1

「心のバリアフリー」という言葉を聞いたことがありますか。

36.7%の方が、「心のバリアフリー」という言葉を聞いたことがあり、意味も知っていると答えました。



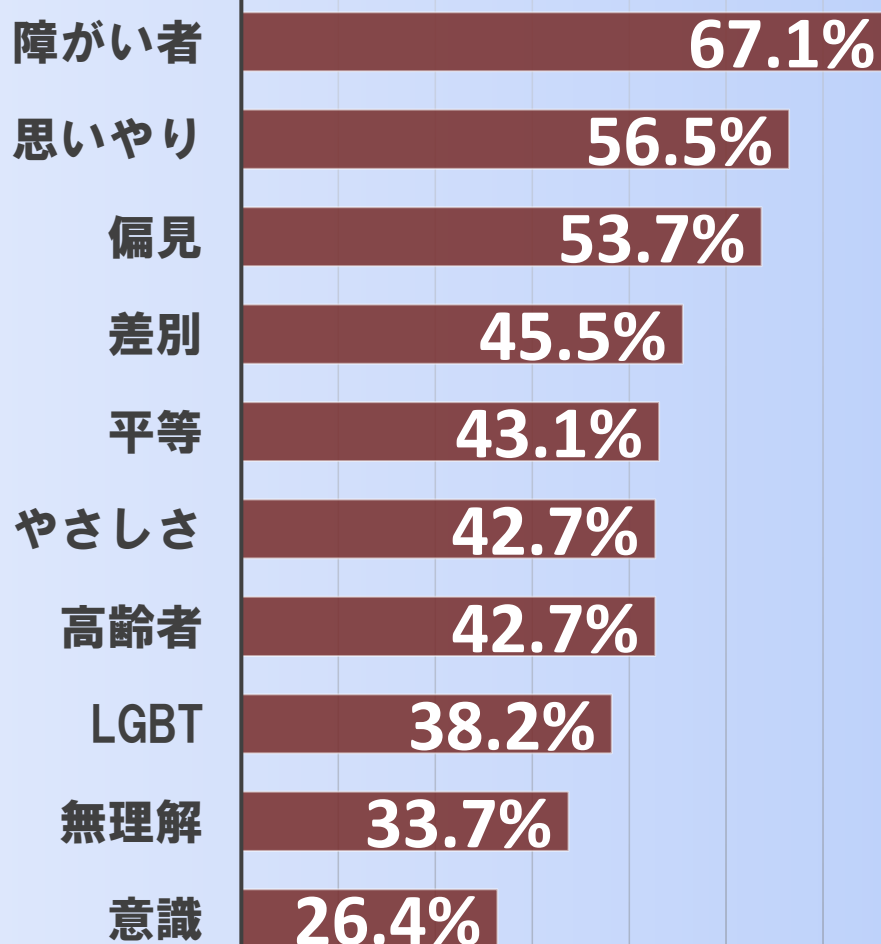
選択肢	件数
聞いたことがあり、意味も知っている	91
聞いたことがあるが、意味は知らない	84
聞いたことがない	73

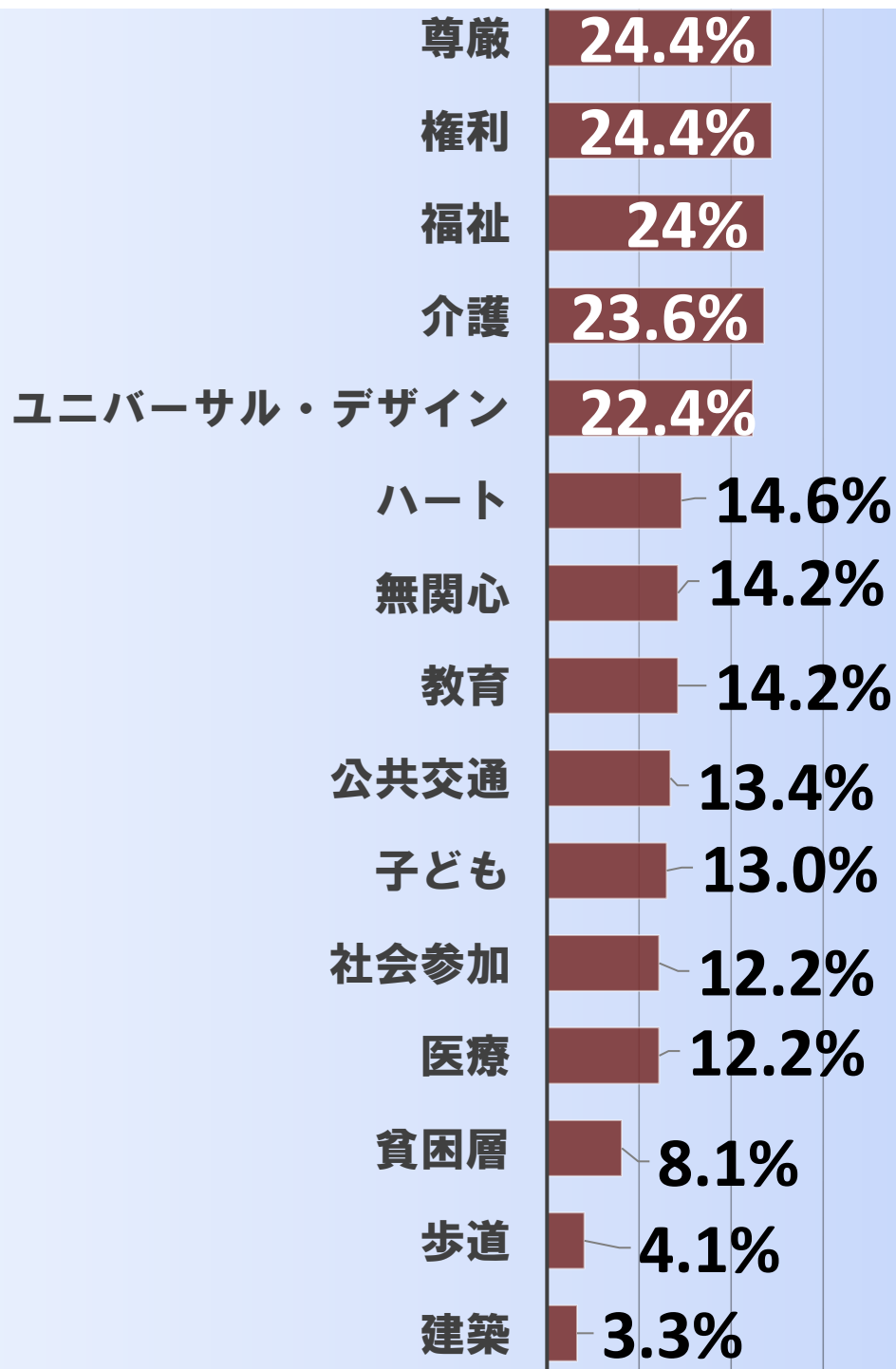
「心のバリアフリー」 に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

質問 2

「心のバリアフリー」という言葉から連想される言葉を次の25項目から7つ選んでください。

246名中165名が、「障がい者」を連想すると回答しました。



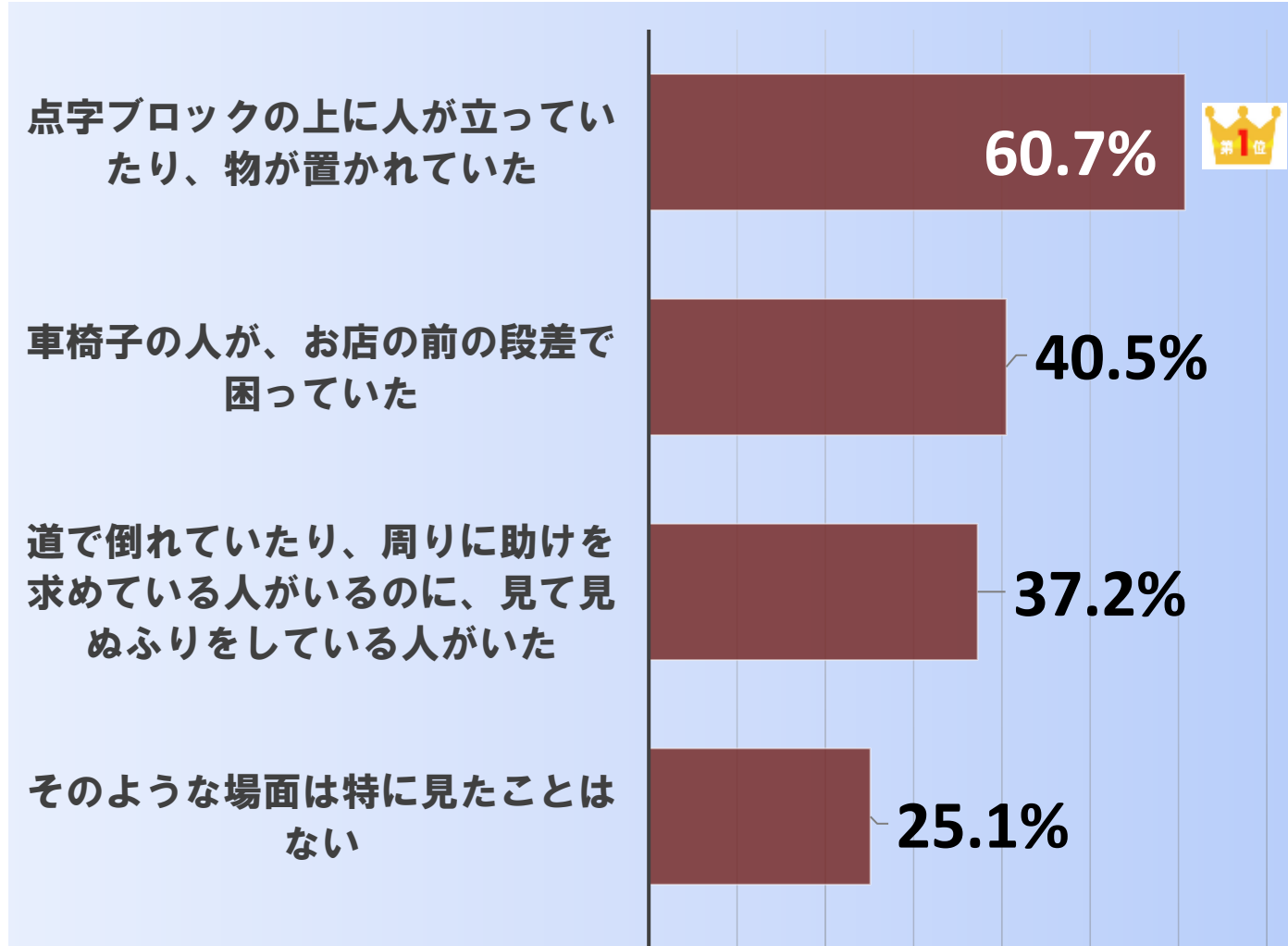


「心のバリアフリー」 に関する町田ちょこっとアンケートの実施結果

質問 3

まちの中や生活の中で次のような場面を見たことがありますか。

247名中150名が、「点字ブロックの上に人が立っていたり、物が置かれていた」と回答しました。



ベビーカー利用者が、バリアフ
リートイレやエレベーターの前で
入れずに長時間待っていた

21.5%

視覚障がい者が、交差点で困って
いた

16.2%

車椅子の人が、バリアフリートイ
レやエレベーターの前で入れずに
長時間待っていた

15.8%

車椅子の人が、満員電車で迷惑が
られていた

13.0%

補助犬（盲導犬、聴導犬、介助
犬）を連れた人が、入店を断られ
ていた

2.0%

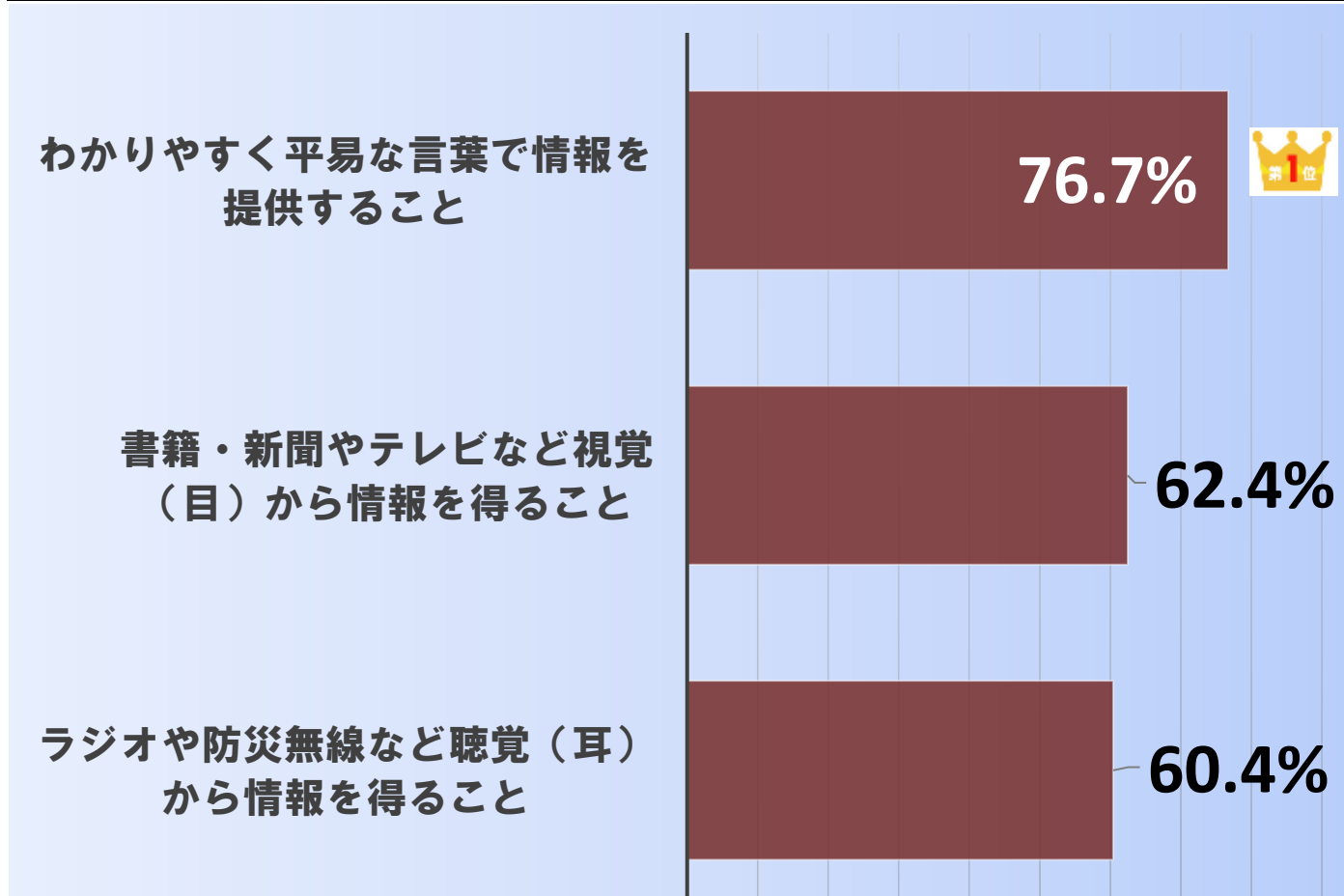
聴覚障がい者が、電車が止まった
理由がわからず、他の人に尋ねて
も情報が得られず困っていた

1.2%

質問4

すべての人が情報を取得する上で必要だと思う手段や方法を選んでください。

245名中188名が、「わかりやすく平易な言葉で情報を提供すること」と回答しました。



パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器からインターネットを使って情報を得ること

58.4%

情報提供時にその内容を手話通訳と字幕表示で提供すること

55.5%

情報提供時にその内容を点字と音声媒体（音声コードやCDなど）で提供すること

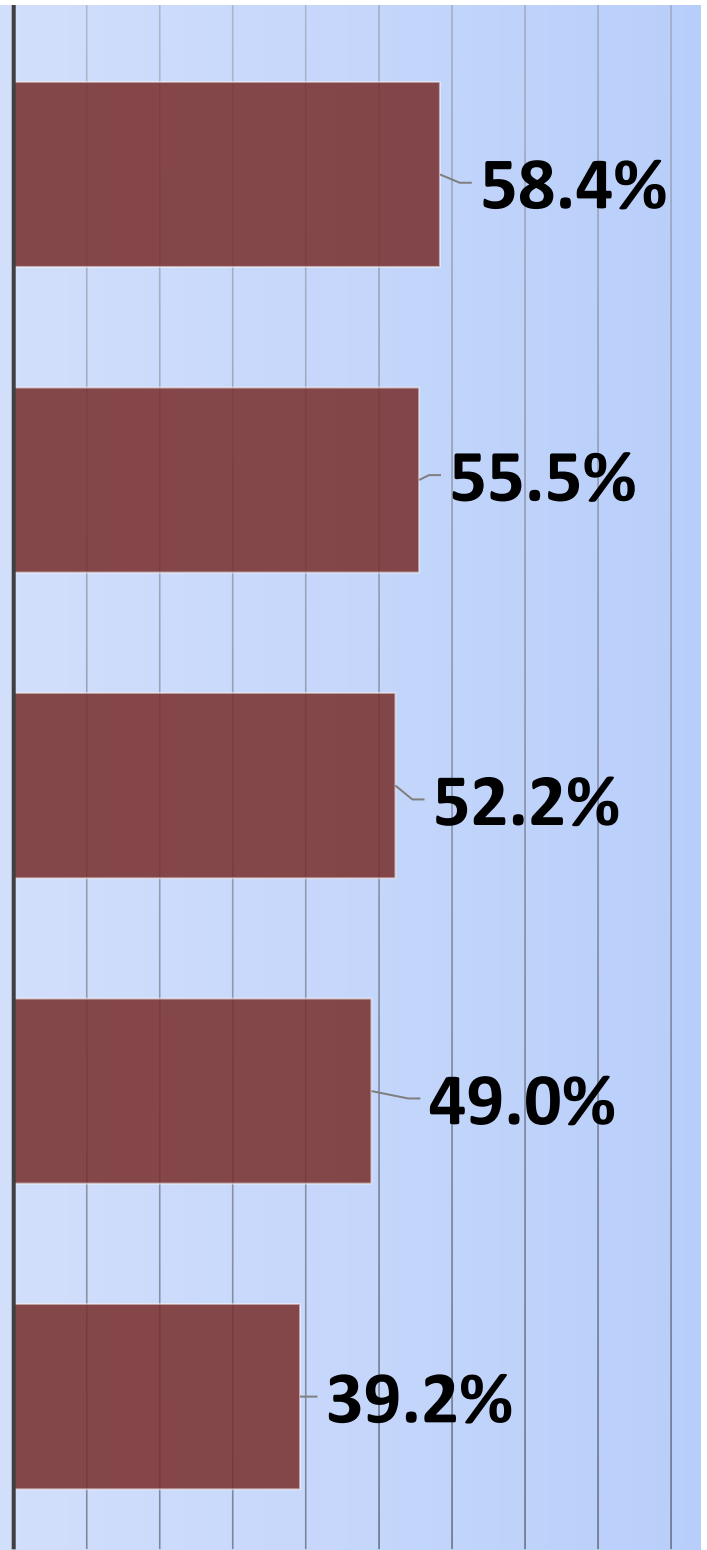
52.2%

イラストやマンガ等を多く使用して情報を提供すること

49.0%

パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器から情報が通知として強制的に届くこと

39.2%



質問 5

「心のバリアフリー」とは、障がい者や高齢者など、社会の中で困難を抱えている人に対して、差別や偏見をなくし、すべての人が自立心や尊厳を保てるよう理解し、行動を示すことです。「心のバリアフリー」推進のためにあなたが特に効果的だと思う取組を1つ選んでください。

37.7%の方が、「小中学生への心のバリアフリーに関する教育」と回答しました。



設問	回答数	構成比
小中学生への心のバリアフリーに関する教育	93	37.7%
行政による普及啓発	48	19.4%
地域住民を対象とした心のバリアフリーに関する学習機会の提供	40	16.2%

心のバリアフリーに関する取組を主体的に担う地域の人材の養成	31	12.6%
民間事業者が従業員に対して行う接遇向上研修	23	9.3%
民間事業者による普及啓発	12	4.9%